

# 無極性循環アダプター 取付説明書

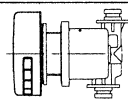
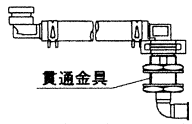


## △注意

- ・循環アダプターの角部や突起で手指などにけがをしないよう注意してください。
- ・循環アダプターからは、高温水（60～80℃）が出る場合がありますので、注意してください。
- ・強酸性の洗剤や塩素系のカビ洗浄剤は部品をいためる恐れがありますので使用しないでください。
- ・この取付説明書は、工事終了後に必ずお客様にお渡しく下さい。

★この循環金具は、「往」・「戻」の指定はございません。

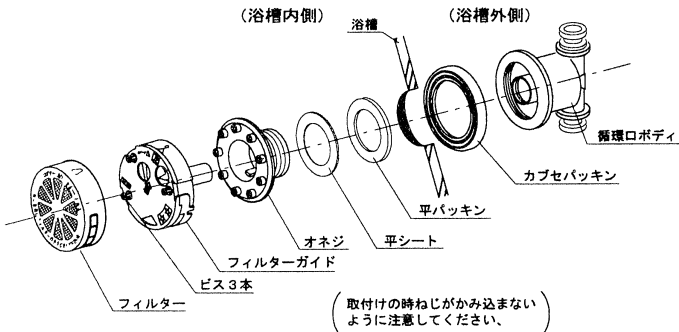
## 開梱

梱包の中に以下の部品が入っていることを確認してください。

部品名	形状	個数
循環金具		1
ホースセット		2
クイックファスナー(16B)		2
アダプタ補強板		1

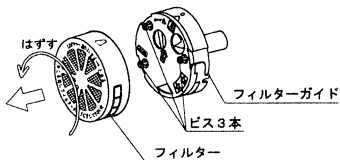
## 取付け図

・この循環金具は浴槽肉厚20mm以下用です。



## 分解方法

- 1) フィルターを左にまわしてはずします。
- 2) フィルターガイドのビス3本をはずし、フィルターガイドをオネジからはずします。

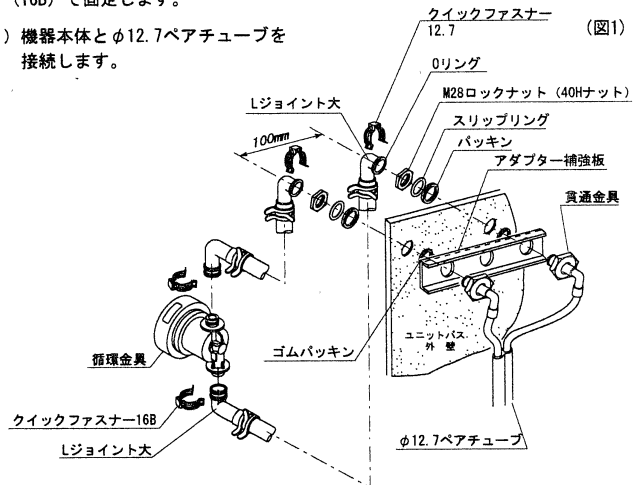


## 取付け方法

### ユニットバス外壁

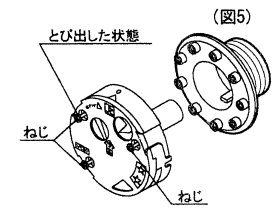
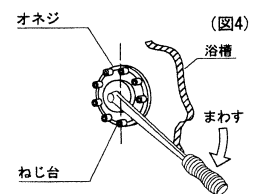
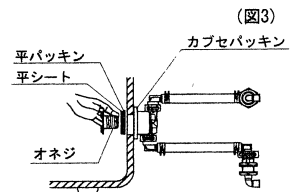
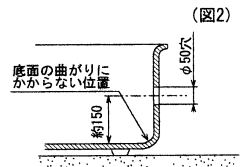
- 1) ユニットバスの外壁にφ30mmの穴をピッチ100mmで水平に2個あけます。その時φ30mmの穴と循環金具取付け穴との距離をUB500型は200～450mm、UB2000型は450～1900mmにしてください。（この範囲外ですと施工できないことがあります。また、ホースが長い場合、距離に合わせてホースを切って取付けてください。）
- 2) UB 貫通金具本体にφ12.7ベアチューブ（1/2銅管は異径ソケットで対応してください。）を差し込みロー付けします。ロー付け後、ユニットバスの外壁にあげたφ30mmの穴に、アダプター補強板を取付けたUB貫通金具本体（φ12.7ベアチューブ付）を取り付け、ユニットバス内側壁のナットでユニットバス外壁に固定します。（図1参照）

- 3) 循環金具のLジョイントをアダプター補強板にはめ、クイックファスナー12.7で固定します。
- 4) 循環金具に循環ホースジョイントを差し込み、クイックファスナー(16B)で固定します。
- 5) 機器本体とφ12.7ベアチューブを接続します。



## 施工方法 (循環金具の取付け)

- 1) 浴槽の穴あけ  
浴槽の底部から約150mmの位置にφ50の穴を1カ所あけます。この時、穴の中心から45mm以内は浴槽底面の曲がりにかからない位置にしてください。またバリはきれいに取ってください。（図2）
- 2) 浴槽内側から平パッキン、平シート、オネジを通しオネジをある程度までネジ込んで下さい。（図3）
- 3) 専用の取付工具（別売品）をオネジに差し込み、右に回してしっかりと固定します。（図4）  
めやすは手で軽く回らない状態になった後、さらに1/2回転から3/4回転程度右へ回してください。（オネジのねじ台のいずれかが真下になるように固定する。）  
オネジの締め付け不足は水漏れの原因となります。逆に締め付けが強すぎると（約1回転以上）破損し、水漏れするおそれがあります。オネジを締め付けた際に平パッキンが変形した場合は、一度オネジを取りはずし、再度締め付けてください。（平パッキンを水でぬらすと変形しにくくなります。）



- 4) 漏れ検査  
専用の漏れ検査治具を使用して、おいただき配管の漏れ検査を必ず行ってください。（取付方法・検査方法については漏れ検査治具説明書をご覧ください。）

- 5) フィルタガイド・フィルタの取付  
1. フィルタガイドは必ず「↑」というマークが最も上になるようにし、**ねじ3本の頭を飛び出した状態**にしてオネジに差し込み、ねじを締め付けます。（図5）



※取付けがズレるとふろの沸き上がり温度が上下で均一になりにくくなります。

2. フィルタガイドの「△」刻印にフィルターの「△」刻印を合わせてはめ込み、右に止まるまで回します。（図6）

※刻印の合っていないところで無理して押し込まないでください。わき上がり温度が上下で均一になりなくなるばかりでなく、フィルターが破損する恐れがあります。

